

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

農業

科目 農業と環境

教科：農業

科目：農業と環境

単位数：4 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書：（農業701「農業と環境」実教出版）

教科 農業

の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活躍し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境

の目標：

| 【知識及び技術】                                     | 【思考力、判断力、表現力等】                                      | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|---|--|
| 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 | 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 | 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| A 農業と環境を学ぶ<br>【知】農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けさせる。<br>【態】農業と環境の学び方について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。 | ・農業や環境は人間生活の影響を受け、相互に影響し合う関係にあることを理解させる。<br>・農業の学び方（プロジェクト学習法）に関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。<br>・プロジェクト学習法に関する基礎的な知識を身に付けさせる。<br>・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動の内容を理解させ、取り組む意欲と態度を身に付けさせる。 | 【知】農業と環境の学び方および、学校農業クラブについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。<br><br>【態】農業と環境の学び方および、学校農業クラブについて、主体的、協働的に取り組もうとしている。  | ○ |   | ○ | 10       |
| B 栽培・飼育と環境のプロジェクト<br>【知】農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解させる。<br>【態】プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組ませる。         | ・プロジェクト実施の意義・方法について理解させ、実施に対する興味・関心と意欲を持たせる。<br>・プロジェクトを実施するにあたって計画の立て方、農業生産工程管理、栽培・飼育環境の管理と評価について理解させる。<br>・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。                      | 【知】農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解している。<br>作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解している。<br>【思】作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。<br>【態】プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4        |

|             |   |  |  |   |   |   |    |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----|
| 1<br>学<br>期 | C 栽培と飼育の基礎<br>【知】作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。<br>【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決させる。<br>【態】作物や家畜に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>作物や家畜に興味関心を持たせる。</li> <li>作物や家畜の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につけさせる。</li> <li>作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できるようにする。</li> <li>作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。</li> </ul>   | <p>【知】作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。</p> <p>【態】作物や家畜に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>  | ○ | ○ | ○ | 22 |
|             | D 栽培と利用 (エダマメ)<br>【知】・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解させる。<br>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。<br>【思】作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。<br>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組ませる。<br>・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解させる。</li> <li>自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につけさせる。</li> <li>「栽培管理」「生育や生育環境の調査」を適切に実施するとともに、実施結果をまとめ、文書で表現する力を身につけさせる。</li> <li>栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけさせる。</li> </ul>   | <p>【知】・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解する。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>【思】作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p> | ○ | ○ | ○ | 13 |
|             | 定期考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1  |
| 2<br>学<br>期 | C 栽培と飼育の基礎  |  |  |   |   |   | 9  |
|             | D 栽培と利用 (ダイコン)  |  |  |   |   |   | 17 |
|             | E 私たちの暮らしと農業<br>【知】私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につけさせる。<br>【思】私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決させる。<br>【態】私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>人間と他の生物との関係、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について関心を持ち、探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。また、食と農業の現状や動向、課題に関心を持たせ、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。</li> <li>人間と他の生物との関係、環境と農業、生活に関する諸課題の解決を目指し思考を深めさせ、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その課程や結果を適切に表現する力を身につけさせる。</li> <li>食と農業、環境と農業、生活に関する資料や情報を収集し、適切に選択して活用する力を身につけさせる。</li> <li>食と農業、環境と農業、生活に関する基礎的な知識を身につけさせ、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について理解させる。</li> <li>食と農業の動向と課題に関する基礎的な知識を身につけさせ、農業の社会的な役割・環境・暮らしとの関係を理解させる。</li> </ul> | <p>【知】私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>【思】私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>  | ○ | ○ | ○ | 12 |

|             |  |   |   |   |   |  |     |
|-------------|--|---|---|---|---|--|-----|
|             | <p>F 都市緑化の方法と利用</p> <p>【知】都市の環境とその調査, 改善方法について基礎的な内容を理解するとともに, 都市緑化の技術を身につける。</p> <p>【思】都市の環境とその調査, 改善方法に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について, 主体的かつ協働的に取り組ませる。</p> <p>・都市の環境とその調査, 改善方法について, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。</p> | <p>・人間生活が環境に影響を与えていることについて理解させ、都市環境の現状を把握させる。</p> <p>・都市緑化の技術を身につけさせる。</p> <p>・都市環境の現状把握に基づき、効果的な改善方法を考察し、具体的な活動を実践させる。</p>     | <p>【知】都市の環境とその調査, 改善方法について基礎的な内容を理解するとともに, 都市緑化の技術を身につける。</p> <p>【思】都市の環境とその調査, 改善方法に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について, 主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>・都市の環境とその調査, 改善方法について, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p> |   |   |  | 16  |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ |  | 1   |
| 3<br>学<br>期 | E 私たちの暮らしと農業   |   |   |   |   |  | 18  |
|             | <p>F 林地の調査の方法と利用</p> <p>【知】林地の環境とその調査, 改善方法について基礎的な内容を理解するとともに, 関連する技術を身につける。</p> <p>【思】林地の環境とその調査, 改善方法に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決させる。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について, 主体的かつ協働的に取り組ませる。</p> <p>・林地の環境とその調査, 改善方法について, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組ませる。</p> | <p>・人間生活が環境に影響を与えていることについて理解させ、林地の現状を把握させる。</p> <p>・林地調査委の指標及び、調査方法を身につけさせる。</p> <p>・林地の現状把握に基づき、効果的な改善方法を考察し、具体的な活動を実践させる。</p> | <p>【知】林地の環境とその調査, 改善方法について基礎的な内容を理解するとともに, 関連する技術を身につける。</p> <p>【思】林地の環境とその調査, 改善方法に関する課題を発見し, 科学的根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【態】・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について, 主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>・林地の環境とその調査, 改善方法について, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p>  |   |   |  | 16  |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ |  | 1   |
|             |  |   |   |   |   |  | 合計  |
|             |  |   |   |   |   |  | 140 |

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 農業 科目 総合実習A

教科： 農業

科目： 総合実習A

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書：（

）

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力をみにつけている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習A

の目標：

| 【知識及び技術】                                  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|---|--|
| 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 | 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 造園分野<br>単元「造園緑化材料①」<br>【知識及び技能】<br>造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 | 造園分野<br>【指導事項】<br>①講義：草本と木本の違い。実習：植栽地の除草、ササ、ドウダンツツジの刈込み。<br>②講義：開花期と花芽分化期。実習：植栽地の除草、サツキツツジの刈込み。<br>③講義：樹木の実用上の分類。実習：校内樹木採集、分類。<br>【教材】<br>①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。 | 造園分野<br>【知識・技能】<br>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート）<br>②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察）<br>③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査）<br>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）<br>【思考・判断・表現】<br>①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート）<br>②造園樹木を分類することができる。（観察、ワークシート）<br>③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br>②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート） | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 果樹分野<br>単元「果樹の栽培管理①」<br>【知識及び技能】<br>果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。            | 果樹分野<br>【指導事項】<br>①講義：果樹の種類の違い。実習：農具の扱い方と除草。<br>②講義：果樹の仕立て方と整枝。実習：摘花。<br>③講義：果樹の枝の特徴。実習：果樹採集、分類。<br>【教材】<br>①タブレットを活用し、成長の記録をする。                                  | 果樹分野<br>【知識・技能】<br>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート）<br>②果樹に合った道具を使用することができる。（観察）<br>③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査）<br>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）<br>【思考・判断・表現】<br>①果樹の管理方法を説明することができる。（レポート）<br>②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート）<br>③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br>②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）                                     | ○ | ○ | ○ | 6        |

1  
学  
期

|  |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|
| <p>草花分野<br/>単元「花壇材料①」<br/>【知識及び技能】<br/>花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>         | <p>草花分野<br/>【指導事項】<br/>①花壇材料の栽培「播種」<br/>②花壇材料の栽培「鉢上げ」<br/>③花壇材料の栽培「鉢替え」・講義：「草花の分類」<br/>【教材】<br/>①タブレットを活用し、栽培課程の記録をする。</p>                                    | <p>草花分野<br/>【知識・技能】<br/>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート）<br/>②基本的な栽培技術を理解することができる。<br/>③草花の草姿・葉・花から植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査）<br/>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）<br/>【思考・判断・表現】<br/>①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート）<br/>②花壇材料を分類することができる。（観察、ワークシート）<br/>③花壇の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>①花壇材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②花壇材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>                      | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査   |   |   | ○ |   |   | 1 |
| <p>造園分野<br/>単元「造園緑化材料②」<br/>【知識及び技能】<br/>造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>造園分野<br/>【指導事項】<br/>①講義：芝生の特性、役割・効果。地被植物の特性。実習：芝生管理。<br/>②講義：老化現象、紅葉の仕組みについて。実習：庭園管理、樹木観察<br/>③講義：樹木の萌芽力。実習：庭園管理。<br/>【教材】<br/>①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。</p> | <p>造園分野<br/>【知識・技能】<br/>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート）<br/>②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察）<br/>③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査）<br/>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）<br/>【思考・判断・表現】<br/>①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート）<br/>②各樹木の紅葉について説明することができる。（観察、ワークシート）<br/>③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>①造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |

|             |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | <p>果樹分野<br/>単元「果樹の栽培管理②」</p> <p>【知識及び技能】<br/>果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>    | <p>果樹分野</p> <p>【指導事項】<br/>①講義：果樹の収穫方法。実習：収穫方法と調整。<br/>②講義：果樹の病害虫防除。実習：除草、バンド誘殺、粗皮削り。<br/>③講義：果樹の枝の特徴。GAPの取り組み。実習：分類。</p> <p>【教材】<br/>①タブレットを活用し、成長の記録をする。</p> | <p>果樹分野</p> <p>【知識・技能】<br/>①実習場面において適切な道具を使用することができる。道具の扱い方を説明できる。(観察・レポート)<br/>②果樹に合った剪定ができる。(観察)<br/>③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。(授業内テスト・定期考査)<br/>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>①果樹の管理方法・時期を選定し、説明することができる。(レポート)<br/>②果樹を分類することができる。(観察、ワークシート)<br/>③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>①果樹の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)<br/>②果樹の管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | <p>草花分野<br/>単元「花壇材料②」</p> <p>【知識及び技能】<br/>花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>草花分野</p> <p>【指導事項】<br/>①講義：花壇の特性、役割・効果。<br/>②講義：花壇の維持管理。実習：花壇管理(除草、枯草取り除き)<br/>③実習：花壇植栽</p> <p>【教材】<br/>①タブレットを活用し、花壇植栽の記録をする。</p>                         | <p>草花分野</p> <p>【知識・技能】<br/>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)<br/>②草花に合った栽培管理をすることができる。(観察)<br/>③草花を見て植物名、科名を分類することができる。(授業内テスト・定期考査)<br/>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。(レポート)<br/>②花壇材料の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>①花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)<br/>②花壇材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |

|             |  |  |  |  |  |   |   |   |   |   |
|-------------|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|
|             | 定期考査   |  |  |  |  | ○ |   |   | 1 |   |
|             | 造園分野<br>単元「造園緑化材料③」<br>【知識及び技能】<br>造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 | 造園分野<br>【指導事項】<br>①講義：樹木の剪定方法①。実習：庭園管理。<br>②講義：樹木の剪定方法②。実習：庭園管理。<br>③講義：植栽の評価。実習：庭園管理<br>【教材】<br>①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。 | 造園分野<br>【知識・技能】<br>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート）<br>②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。（観察）<br>③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査）<br>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）<br>【思考・判断・表現】<br>①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。（レポート）<br>②校内の植栽を評価することができる。（観察、ワークシート）<br>③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察）<br>②造園緑化材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート） |  |  |   | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 3<br>学<br>期 | 果樹分野<br>単元「果樹の栽培管理③」<br>【知識及び技能】<br>果樹について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>果樹に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>果樹の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。            | 果樹分野<br>【指導事項】<br>①講義：果樹の選定方法。実習：剪定。<br>②講義：果樹の施肥。実習：施肥。<br>③講義：果樹の枝の特徴。実習：分類。<br>【教材】<br>①タブレットを活用し、成長の記録をする。           | 果樹分野<br>【知識・技能】<br>①実習場面において適切な道具を使用することができる。道具の扱い方を説明できる。（観察・レポート）<br>②果樹に合った剪定ができる。（観察）<br>③果樹の枝葉を見て植物名、分類することができる。（授業内テスト・定期考査）<br>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）<br>【思考・判断・表現】<br>①果樹の管理方法を説明することができる。（レポート）<br>②果樹を分類することができる。（観察、ワークシート）<br>③果樹の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート）<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①果樹の管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。（観察）<br>②果樹の管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）   |  |  |   | ○ | ○ | ○ | 6 |

|  |   |  |   |   |   |    |
|--|---|--|---|---|---|----|
| <p>草花分野<br/>単元「花壇材料③」<br/>【知識及び技能】<br/>花壇材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>花壇材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>花壇材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>草花分野<br/>【指導事項】<br/>①講義：冬花壇製作<br/>②講義：冬花壇の管理<br/>③講義：植栽の評価<br/>①実習：冬花壇製作<br/>②実習：花壇管理<br/>③実習：春花壇製作<br/>【教材】<br/>①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。</p> | <p>草花分野<br/>【知識・技能】<br/>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)<br/>②草花に合った栽培管理をすることができる。(観察)<br/>③草花を見て植物名、科名を分類することができる。(授業内テスト・定期考査)<br/>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)<br/>【思考・判断・表現】<br/>①花壇材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。(レポート)<br/>②花壇材料の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>①花壇材料及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。(観察)<br/>②花壇材料及びその管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p> | ○ | ○ | ○ | 6  |
| 定期考査   |   |  | ○ |   |   | 1  |
| 合計   |   |  |   |   |   | 56 |



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教科：農業 科目：農業と情報 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H1組～ H2組

使用教科書：（「農業と情報」実教出版）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けること。

科目 農業と情報 の目標：

| 【知識及び技術】                                       | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けること。 | 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。 | 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けること。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| 第1章 私たちの生活と農業の情報化<br>【知識・技能】<br>情報の特徴と性質を理解し、メディアリテラシーについて理解すること。<br>【思考・判断・表現】<br>情報化社会の課題を発見し、モラルを守ろうとすること。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>農業の情報化に必要な技術について自ら学び、必要な技術の収集について主体的かつ協動的に取り組むこと。                 | ・指導事項<br>①情報化社会における私たちの生活<br>②情報とメディア<br>③情報化とモラル<br>④農業を支える情報<br>単元テスト<br>・教材：教科書、パソコン室端末、タブレット端末                             | 【知識・技能】<br>・情報の特徴と性質を理解している。<br>・メディアリテラシーについて理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・情報化社会の課題について考えている。<br>・情報化社会におけるモラルについて考え、モラルを守ろうとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・農業の情報化に必要な技術について自ら学ぼうとしている。<br>・農業の情報化に必要な技術の収集について主体的かつ協動的に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 第3章 コミュニケーションと情報デザイン<br>【知識・技能】<br>各種ソフトウェアの特徴と機能を理解し、基本操作と利用方法を身に付けること。<br>【思考・判断・表現】<br>正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性を理解し、その表現方法を身に付けること。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>ソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協動的に取り組むこと。    | ・指導事項<br>①情報表現のためのソフトウェア<br>②文書の作成と表現<br>③データの集計と視覚化<br>単元実技テスト<br>・教材：教科書、副教材、パソコン室端末、タブレット端末                                 | 【知識・技能】<br>・各種ソフトウェアの特徴と機能を理解する。<br>・各種ソフトウェアの基本操作と利用方法を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>・正確な情報収集についての課題について考えている。<br>・記録の重要性を理解し、その表現方法を身に付けている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・ソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協動的に取り組もうとしている。                  | ○ | ○ | ○ | 6        |
| 第3章 コミュニケーションと情報デザイン<br>【知識・技能】<br>各種ソフトウェアの特徴と機能を理解し、基本操作と利用方法を身に付けること。<br>【思考・判断・表現】<br>正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けること。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協動的に取り組むこと。 | ・指導事項<br>④データベースシステムとオープンデータ<br>⑤画像・図形処理ソフトウェアの利用<br>⑥プレゼンテーション<br>⑦情報発信<br>⑧問題解決の方法<br>単元実技テスト<br>・教材：教科書、副教材、パソコン室端末、タブレット端末 | 【知識・技能】<br>各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。<br>【思考・判断・表現】<br>正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協動的に取り組もうとしている。                                      | ○ | ○ | ○ | 6        |

|             |   |   |  |   |   |   |    |
|-------------|---|---|--|---|---|---|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>第2章 社会を支えるコンピュータ</p> <p>【知識・技能】<br/>コンピュータの概要を理解し、情報社会の脅威と情報管理の重要性を理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>インターネット検索の課題について考え、データや情報の種類とその表現方法を身に付けること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>   | <p>・指導事項</p> <p>①コンピュータの仕組み<br/>②データや情報の表現<br/>③情報通信ネットワーク<br/>④インターネットの仕組み<br/>⑤情報セキュリティ<br/>⑥単元テスト</p> <p>・教材：教科書、<br/>パソコン室端末、<br/>タブレット端末</p>                         | <p>【知識・技能】<br/>・コンピュータの概要を理解している。<br/>・情報社会の脅威と情報管理の重要性を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>・インターネット検索の課題について考えている。<br/>・データや情報の種類とその表現方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 2  |
|             | <p>第4章 スマート農業への展望</p> <p>【知識・技能】<br/>AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>データの重要性や農業情報システムの役割を理解し、本校気象センサの活用方法を身に付けていること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。</p> | <p>・指導事項</p> <p>①スマート農業のめざす将来<br/>②システム開発と設計<br/>③プログラムの設計<br/>④計測と制御<br/>⑤リモートセンシングとGIS<br/>⑥人口知能<br/>⑦単元テスト</p> <p>・教材：教科書、<br/>パソコン室端末、<br/>タブレット端末、<br/>IoT機器（農場）</p> | <p>【知識・技能】<br/>AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>データの重要性や農業情報システムの役割を理解するとともに、本校気象センサの活用方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>               | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 3<br>学<br>期 | <p>第5章 農業情報の分析と活用</p> <p>【知識・理解】<br/>農業情報の様々な収集・分析方法、特にGAPにおける情報の収集・分析方法を理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>農業情報の分析方法と活用方法を身に付けること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>農業情報の収集・分析・活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>                                | <p>・指導事項</p> <p>①農業情報の収集と分析<br/>②農業生産や経営情報の分析と活用<br/>③環境に関する情報の分析と活用<br/>④食品や地域資源に関する情報の分析と活用<br/>⑤単元テスト</p> <p>・教材：教科書、<br/>パソコン室端末、<br/>タブレット端末</p>                     | <p>【知識・理解】<br/>農業情報の様々な収集・分析方法、特にGAPにおける情報の収集・分析方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>農業情報の分析方法と活用方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>農業情報の収集・分析・活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 4  |
|             | <p>第6章 農業学習と情報活用</p> <p>【知識・理解】<br/>農業学習の特徴とプロジェクト学習について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>栽培プロジェクトで得られたデータを各種ソフトウェアを活用して分析し、まとめる方法を身に付けること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>プロジェクト学習の進め方を理解し主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>                     | <p>・指導事項</p> <p>①農業学習とプロジェクト学習<br/>②プロジェクト発表と情報発信<br/>③データの視覚化と分析<br/>④単元テスト</p> <p>・教材：教科書、<br/>パソコン室端末、<br/>タブレット端末</p>   | <p>【知識・理解】<br/>農業学習の特徴とプロジェクト学習について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>栽培プロジェクトで得られたデータを各種ソフトウェアを活用して分析し、まとめる方法を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>プロジェクト学習の進め方を理解し主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>                                     | ○ | ○ | ○ | 6  |
|             |   |   |  |   |   |   | 合計 |
|             |   |   |  |   |   |   | 44 |

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 農業 科目 栽培と環境

教科： 農業 科目： 栽培と環境 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書：（ 実教出版「栽培と環境」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力をみにつけている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 栽培と環境 の目標：

| 【知識及び技術】                                  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | 栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 | 栽培と環境について農業生物の栽培や管理に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| A単元「栽培植物の発育・生理と栽培技術」<br>【知識及び技能】<br>栽培植物の発育・生理と栽培技術について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>栽培植物の発育・生理と栽培技術に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>栽培植物の発育・生理と栽培技術の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 | 【指導事項】<br>①作物の種類と特徴<br>②作物の一生<br>③播種と土壌実験<br>④作物の発育と成長の調節<br>⑤育苗と肥料実験<br>⑥作物体内の生理作用<br>⑦作物の成熟と老化<br>⑧栽培技術<br>【教材】<br>①実教出版「栽培と環境」<br>②タブレットを活用。 | 【知識・技術】<br>①本時の学びについて理解している（レポート、課題、考査）<br>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br>③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br>④各指導事項の内容を理解している。（考査）<br>【思考・判断・表現】<br>①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査）<br>②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題）<br>③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①積極的に実習に参加している。（観察）<br>②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題）<br>③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート） | ○ | ○ | ○ | 9        |

|         |  |   |  |   |   |   |    |
|---------|--|---|--|---|---|---|----|
| 1<br>学期 | <p>B単元「プロジェクト学習」</p> <p>【知識及び技能】<br/>プロジェクト学習について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>情報や技術の収集について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>           | <p>【指導事項】</p> <p>①プロジェクト学習の意義<br/>②プロジェクト学習の進め方<br/>③診断・実験の実施にあたって<br/>④発育と生理の診断・実験<br/>⑤～⑨トウモロコシ栽培を通して、プロジェクト学習</p> <p>【教材】</p> <p>①実教出版「栽培と環境」<br/>②タブレットを活用。</p>   | <p>【知識・技術】</p> <p>①本時の学びについて理解している（レポート、課題、考査）<br/>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br/>③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br/>④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査）<br/>②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題）<br/>③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題）<br/>③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p>       | ○ | ○ | ○ | 9  |
|         | 定期考査   |   |  | ○ | ○ |   | 1  |
|         | <p>A単元「栽培環境」</p> <p>【知識及び技能】<br/>栽培環境について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>栽培環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>栽培環境の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>       | <p>【指導事項】</p> <p>①土壌の役割<br/>②土壌の機能<br/>③土壌中の窒素動態<br/>④土壌肥沃度の管理<br/>⑤土壌の管理と改良<br/>⑥農地の生物群集<br/>⑦害虫と病害その防除<br/>⑧雑草害・鳥獣害とその防除<br/>⑨農薬とその使用方法<br/>⑩総合的有害生物管理</p> <p>【教材】</p> <p>①実教出版「栽培と環境」<br/>②タブレットを活用。</p> | <p>【知識・技術】</p> <p>①本時の学びについて理解している（レポート、課題、考査）<br/>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br/>③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br/>④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査）<br/>②課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題）<br/>③まとめた結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②課題について関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題）<br/>③実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p>       |   |   |   | 10 |
| 2<br>学期 | <p>「葉菜類の栽培①」</p> <p>【知識及び技能】<br/>葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>①葉菜類の栽培<br/>②ソーラーシェアリング<br/>③IoT機器の活用<br/>④露地栽培と人口土壌栽培<br/>⑤プロジェクト課題設定<br/>⑥プロジェクト学習<br/>⑦プロジェクト学習<br/>⑧プロジェクト学習<br/>⑨プロジェクト学習<br/>⑩プロジェクト学習</p>   | <p>【知識・技能】</p> <p>①プロジェクト学習の意義を理解している。（レポート）<br/>②プロジェクト学習の進め方を理解している。（レポート）<br/>③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br/>④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br/>⑤各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（ワークシート・レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート）<br/>③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |

|   |  |  |   |   |   |   |
|---|--|--|---|---|---|---|
| 定期考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1 |
| <p>「葉菜類の栽培②」</p> <p><b>【知識及び技能】</b><br/>葉菜類の栽培について理解するとともに、栽培技術を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>葉菜類の栽培に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>葉菜類の栽培の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p><b>【指導事項】</b><br/>①～②プロジェクト学習評価・反省<br/>③～④プロジェクト課題再設定<br/>⑤～⑥プロジェクト学習計画</p> <p><b>【教材】</b><br/>①実教出版「農業と環境」<br/>②タブレットを活用し、繁殖手順、育苗等の記録する。</p> | <p><b>【知識・技能】</b><br/>①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート)<br/>②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート)<br/>③実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察)<br/>④実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート)<br/>⑤各指導事項の内容を理解している。(考査)</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b><br/>①プロジェクト学習の栽培記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(ワークシート・レポート)</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b><br/>①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)<br/>②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。(レポート)<br/>③プロジェクト学習に関心をもち、栽培記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1 |

合計

47

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科

農業 科目 課題研究

教科： 農業

科目： 課題研究

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書： ( )

教科 農業 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活躍し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標：

| 【知識及び技術】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|---|---|
| 農業に関わる課題解決的な学習の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 | 農業と自己との関わりから問を見出し、課題を立て、その解決に向け、取得した情報を基に考察する力を身に付けるとともに、考察したことを根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。 | 課題解決的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、次図から社会に参画・貢献しようとする態度を育てる。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| 1 学 期<br>資格の取得<br>○資格取得に向けての動機づけ。<br>○自らの知識の到達度を確認し、どのように学習を進めていくか見直しを行う。<br>・植物の生長<br>・栽培に関わる環境要素<br>・栽培・飼育作業の基礎<br>・日本の農業について<br>・農業・農村の多面的機能<br>・農業に関する法律<br>・農産物の流通<br>・人と環境の関わり・地球環境による環境問題<br>・農業における環境問題・資源の有効利用<br>・食品の基礎知識・地域の食材<br>・食の安全<br>・食生活と栄養<br>・学習内容の定着度を確認する。<br>・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。 | 過去問題の解説<br>・栽培・飼育分野<br>・主な作物の栽培例<br>・農業全般の分野<br>・環境分野<br>・食分野 | 【知】 6割以上の正答率。<br>【態】 自分の達成度を点検し、自分にあった学習方法を調節できる。 | ○ |   | ○ | 7        |

|  |  |  |   |   |   |    |
|--|--|--|---|---|---|----|
| 定期考査   | 中間考査<br>期末考査   |  | ○ |   |   | 2  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エクセルの操作方法について</li> <li>・ パワーポイントの操作方法について</li> <li>・ インターネットの活用方法について</li> <li>・ 課題研究とは何か。</li> <li>・ 目的実施要綱</li> <li>・ 課題研究の進め方</li> <li>・ 進める上での注意点</li> <li>・ 学習内容の定着度を確認する。</li> <li>・ 自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究の発表に向けたコンピュータソフトの学習</li> <li>・ 課題研究の発表に向けたコンピュータソフトの学習</li> <li>・ 課題研究の進め方について</li> </ul> | <p>【知】 課題研究の一連の流れを理解できたか。研究に用いられる手法を先行研究などから習得することができたか。</p> <p>【態】 農業に関心を持ち、課題を解決しようと意欲的に取り組んでいるか。</p>  | ○ |   | ○ | 9  |
| 定期考査   |  |  | ○ | ○ |   | 1  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサーチクエスト</li> <li>・ 仮説設定</li> <li>・ 仮説の検証</li> <li>・ 実験方法</li> <li>・ 研究の年間計画</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題研究の課題の設定</li> </ul>   | <p>【知】 課題研究の一連の流れを理解できたか。研究に用いられる手法を先行研究などから習得することができたか。</p> <p>【思】 リサーチクエスト、仮説設定、仮説検証等、科学的に矛盾のない研究計画になっているか。先行研究を調べて上で、新規性のあるテーマになっているか。</p> <p>【態】 農業に関心を持ち、課題を解決しようと意欲的に取り組んでいるか。</p> | ○ | ○ | ○ | 6  |
| 定期考査   |  |  | ○ | ○ |   | 1  |
|  |  |  |   |   |   | 合計 |
|  |  |  |   |   |   | 26 |





|             |  |   |  |   |   |   |   |
|-------------|--|---|--|---|---|---|---|
| 1<br>学<br>期 | <p>園芸デザイン分野</p> <p>【知識及び技能】<br/>フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>フラワー装飾の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>                        | <p>園芸デザイン分野</p> <p>【指導事項】</p> <p>①講義：色の組み合わせ(色の見え方に関して)<br/>実習：ガーベラの花束(ラッピングペーパーとリボンの組み合わせ)</p> <p>②講義：色の組み合わせ(色相環に関して)<br/>実習：学校に植栽されている花材を用いて色相環アレンジづくり</p> <p>③講義：アレンジメントの活用と制作方法(アレンジメントの基本)<br/>実習：ドーム型アレンジメント</p> | <p>園芸デザイン分野</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②テーマに合ったデザインをすることができる。(観察)</p> <p>③フラワー装飾の活用方法や意味を説明することができる。(授業内テスト・定期考査)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①花材の管理方法を説明することができる。(レポート)</p> <p>②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①フラワー装飾及びその管理に関心を持ち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②フラワー装飾及び花材管理に関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | <p>植物バイオテクノロジー分野</p> <p>【知識及び技能】<br/>植物バイオテクノロジーについて理解するとともに、サギソウの無菌播種技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>植物バイオテクノロジーの情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>植物バイオテクノロジー分野</p> <p>【指導事項】</p> <p>①講義：実験器具の名称と使い方<br/>実験：培地づくり</p> <p>②講義：サギソウの無菌播種法について<br/>実験：サギソウの無菌播種</p> <p>③講義：花卉培養について<br/>実験：キクの花弁培養用培地づくり</p>  | <p>植物バイオテクノロジー分野</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①実験場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②種子を無菌的に培養土に播種できる(観察)</p> <p>③レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①実験器具の使用方法和使用上の注意点について説明できる。(レポート)</p> <p>②植物バイオテクノロジーの役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①植物バイオテクノロジーに関心を持ち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②植物バイオテクノロジーに関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>                                      | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | 定期考査   |   |  | ○ | ○ |   | 1 |

|             |  |   |   |   |   |   |   |
|-------------|--|---|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | <p>造園分野</p> <p>【知識及び技能】<br/>造園緑化材料について理解するとともに、管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>造園緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>造園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>                                | <p>造園分野</p> <p>【指導事項】</p> <p>①講義：芝生の特性、役割・効果。地被植物の特性。実習：芝生管理。</p> <p>②講義：老化現象、紅葉の仕組みについて。実習：庭園管理、樹木観察</p> <p>③講義：樹木の萌芽力。実習：庭園管理。</p> <p>【教材】</p> <p>①タブレットを活用し、造園緑化材料の記録する。</p> | <p>造園分野</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②樹木やデザインに合った剪定・刈込みをすることができる。(観察)</p> <p>③樹木の枝葉を見て植物名、分類することができる。(授業内テスト・定期考査)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①造園緑化材料の管理方法・時期を選定し、説明することができる。(レポート)</p> <p>②各樹木の紅葉について説明することができる。(観察、ワークシート)</p> <p>③校内樹木の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②造園緑化材料及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | <p>園芸デザイン分野</p> <p>【知識及び技能】<br/>フラワー装飾について理解するとともに、フラワー装飾技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>フラワー装飾に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>フラワー装飾の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>                        | <p>園芸デザイン分野</p> <p>【指導事項】</p> <p>①講義：アレンジメントの活用と制作方法<br/>実習：トライアングュラー</p> <p>②講義：アレンジメントの活用と制作方法<br/>実習：ホリゾンタル</p> <p>③講義：様々なワイヤリング方法<br/>実習：テーピング、ルーブリボン</p>                   | <p>園芸デザイン分野</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②テーマに合ったデザインをすることができる(観察)</p> <p>③ワイヤリング方法について説明できる(授業内テスト・定期考査)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①植物に合わせたワイヤリング方法について説明できる(レポート)</p> <p>②フラワー装飾の役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①フラワー装飾に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②フラワー装飾に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>   | ○ | ○ | ○ | 6 |
|             | <p>植物バイオテクノロジー分野</p> <p>【知識及び技能】<br/>植物バイオテクノロジーについて理解するとともに、サギソウの無菌播種技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>植物バイオテクノロジーの情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>植物バイオテクノロジー分野</p> <p>【指導事項】</p> <p>①講義：植物ホルモンについて<br/>実験：キクの花弁培養 培地づくり</p> <p>②講義：植物ホルモンの活用について<br/>実験：キクの花弁培養本番</p> <p>③講義：カルスについて<br/>実験：キクの花弁培養経過観察</p>                   | <p>植物バイオテクノロジー分野</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①実験場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②植物ホルモンを適量使用することができる。(観察)</p> <p>③レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①植物ホルモンの使用方法と使用上の注意点について説明できる。(レポート)</p> <p>②植物バイオテクノロジーの役割・効果について調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①植物バイオテクノロジーに関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②植物バイオテクノロジーに関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>   | ○ | ○ | ○ | 6 |



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

農業

科目 野菜

教科： 農業

科目： 野菜

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書：（ 農業311「野菜」実教出版

）

教科 農業

の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活躍し、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ強力的に取り組む態度を養う。

科目 野菜

の目標：

| 【知識及び技術】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 | 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 | 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|---|--|---|---|---|---|----------|
| 1<br>学<br>期 | <p>第1章 野菜生産の役割と動向</p> <p>○野菜を分類し、多くの種類を体系的に理解させる。</p> <p>○野菜の栄養価などの重要性を理解させる。</p> <p>○野菜の消費と生産の現状と動向を学習する。とりわけ消費者ニーズが多様化するなかで、品種改良や作型・栽培技術の発展・改良、輸入野菜の増加などについても理解させる。</p> <p>○安全な野菜生産のために、多くの取り組みが必要であり、それが重要であることを理解させる。</p> | <p>1 野菜の種類と利用</p> <p>2 野菜の消費</p> <p>3 野菜の生産と供給</p> <p>4 野菜の安全性</p> | <p>【知】分類方法が理解できて、いろいろな野菜を分類できたか。</p> <p>野菜を生産と消費の立場で理解することができたか。</p> <p>安全・安心な野菜の生産には、さまざまな方法があることが理解できたか。</p> <p>野菜栽培には食料生産の目的以外の機能があることが理解できたか。</p> <p>野菜消費量の推移に関する資料を探して、目的にあった情報を抽出してデータ処理ができるか。</p> <p>また、データ処理の結果を分かりやすく表現できるか。</p> <p>【思】野菜を分類することが、栽培や利用の面でどのような利点があるのか考えることができるか。</p> <p>野菜の種類と消費量の変化について主な理由を考えられるか。</p> <p>野菜を栽培することが、圃場の周りの環境や景観にどのような影響を与えるかを考えられるか。</p> <p>【態】野菜の種類と分類に関心をもって、共通点と違いなどを理解しようとしたか。</p> <p>原産地や来歴、利用の仕方などにも興味を持ち、調べようとしたか。</p> <p>日本の野菜生産が現在に至った経緯や世界の野菜生産との違いなどを探求しようとしたか。</p> <p>安全・安心な野菜の生産方法などについて関心を持ち、調べようとしたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 9        |
|             | <p>第4章 果実を利用する野菜の栽培</p> <p>○トマトは健康野菜としての需要も多い重要な野菜であることを理解させる。</p> <p>○栽培上の特性は観察や実験実習を通して学ばせる。特に高温では着花位置が高くなり落花しやすいことを観察させ、栽培環境と生育との関係を科学的に考えさせる。</p> <p>○栽培管理をよく理解し、摘芽や着果促進・摘果、かん水管理が実際に管理できるようにする。</p>                      | 2 トマト  | <p>【知】生育に適する温度・光・水分などの環境条件や着花習性などを理解し、栽培管理のポイントについて体験を通して理解できたか。</p> <p>作型と品種選定にどのような関係があるか理解できたか。</p> <p>トマトの着花習性を観察できたか。</p> <p>定植、誘引、着果促進、適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。</p> <p>病害虫や生理障害を的確に観察できたか。</p> <p>【思】栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。</p> <p>作型が現在のように分化してきた理由を考えることができたか。</p> <p>栽培の評価が理論的に行えたか。</p> <p>【態】教材として取り上げた果菜類の特性を理解しようとしたか。</p> <p>トマトの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。</p> <p>実践課題について、問題や課題を積極的に見いだし、意欲的に取り組んだか。</p>  | ○ | ○ | ○ | 9        |
|             | 定期考査  |  |   |   | ○ | ○ |          |

|  |  |   |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|---|
| <p>第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術</p> <p>○野菜の種まきから収穫までの生育過程と生理的特徴を理解させ、栽培と環境についても理解させる。</p> <p>○施設栽培などの人工環境における栽培技術の基礎について理解させる。</p> <p>○育苗の目的と良い苗の特徴を理解し、育苗計画が立てられるようにする。</p> <p>○用土の準備から種まきやつぎ木、温度管理などが実際にできるようにする。</p> | <p>1. 野菜の生育と生理</p> <p>2. 野菜の栽培環境と生育調節</p> <p>3. 人工環境における栽培技術</p> | <p>【知】主な野菜の各生育段階における特徴を理解できたか。</p> <p>野菜の生育が温度や光、土壌環境などの違いによって大きく変わることを理解できたか。</p> <p>好適な栽培環境について理解できたか。</p> <p>発芽率と温度・光条件の関係や花芽分化のようす、温度・光・水分管理と成長との関係などの実験や観察を的確にできるか。</p> <p>【思】発芽に関しては、温度・光の条件によって発芽率が違うことから、各野菜の発芽に重要な環境要素を考えたり、好適な発芽環境を判断できるか。また、成長や花芽分化、抽だい、開花、結実などについても同じように思考・判断ができるか。</p> <p>実験結果などを理論的に正しく判断できるか。</p> <p>実験した結果をデータ処理して図表を作るなど分かりやすく表現できるか、観察した様子から順序よく変化を説明できるか。</p> <p>【態】野菜の各生育段階における生育特性にいろいろな疑問を持ち、それらを解決しようとするか。</p> <p>野菜の生育が温度や光、土壌環境などの違いによって大きく変わることに興味を持ち、成長と環境との関係について探求しようとするか。</p> <p>発芽や花芽分化が温度・光環境によって違うことを実験を通して調べようとするか。</p> <p>近年注目されている野菜の生産手段である植物工場について、興味・関心があるか。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>第5章 葉や花茎を利用する野菜の栽培</p> <p>○キャベツ、ブロッコリー、ハクサイの発芽・生育に適した温度・光・土壌などの条件を学び、栽培に活用できるようにする。</p> <p>○花芽分化させないものと、させるものの生理機序や管理の違いを理解させる。</p> <p>○冷涼な気候を好み、高温で開花しやすいことを理解させ、季節によって産地が大きく異なる理由も考えさせる。</p>                | <p>1 キャベツ</p> <p>2 ハクサイ</p> <p>4 ブロッコリー</p>                      | <p>【知】種まき、定植、適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。</p> <p>温度や日長と花芽分化・抽だいの関係に関する実験や調査が的確に行えたか。</p> <p>病害虫や生理障害を的確に観察できたか。</p> <p>生育に適する温度・光・水分などの環境条件や花芽分化などを理解し、栽培管理のポイントについて体験を通して理解できたか。</p> <p>産地の気候条件と作型にどのような関係があるか理解できたか。</p> <p>【思】栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。</p> <p>作型が現在のように分化してきた理由を考えることができたか。</p> <p>栽培の評価が理論的に行えたか。</p> <p>【態】教材として取り上げた葉菜類の特性を理解しようとしたか。</p> <p>レタスやホウレンソウの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。</p> <p>実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。</p>  | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>定期考査</p>  |  |   | ○ | ○ |   | 1 |

|   |                        |  |   |   |   |    |
|---|------------------------|--|---|---|---|----|
| <p>第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術<br/>○施設栽培などの人工環境における栽培技術の基礎について理解させる。</p>                            | <p>3. 人工環境における栽培技術</p> | <p>【知】野菜の生育が温度や光、土壌環境などの違いによって大きく変わること理解できたか。<br/>好適な栽培環境について理解できたか。<br/><br/>【思】成長や花芽分化、抽だい、開花、結実などについて思考・判断ができるか。<br/><br/>【態】近年注目されている野菜の生産手段である植物工場について、興味・関心があるか。</p>   | ○ | ○ | ○ | 6  |
| <p>第4章 果実を利用する野菜の栽培<br/>○栄養繁殖、ウイルスフリー苗の利用を理解させる。<br/>○品種登録と種苗法を理解させる。<br/>○休眠と休眠打破を理解させる。</p> | <p>8 イチゴ</p>           | <p>【知】生育に適する温度・光・水分などの環境条件や着花習性などを理解し、栽培管理のポイントについて体験を通して理解できたか。<br/>作型と品種選定にどのような関係があるか理解できたか。<br/>イチゴの着花習性を観察できたか。<br/>定植、誘引、着果促進、適期収穫、病害虫の防除、肥培管理などが的確に行えたか。<br/>病害虫や生理障害を的確に観察できたか。<br/><br/>【思】栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、野菜の特性と比べて理論的に考えることができたか。<br/>作型が現在のように分化してきた理由を考えることができたか。<br/>栽培の評価が理論的に行えたか。<br/>【態】教材として取り上げた果菜類の特性を理解しようとしたか。<br/>イチゴの生育に関心を持ち、意欲的に観察や栽培管理を行ったか。<br/>実践課題について、問題や課題を積極的に見だし、意欲的に取り組んだか。</p> | ○ | ○ | ○ | 6  |
| <p>定期考査</p>   |                        |  | ○ | ○ |   | 1  |
|   |                        |  |   |   |   | 合計 |
|   |                        |  |   |   |   | 49 |

# 高等学校 令和5年度(2学年)教科

# 農業 科目 果樹

教科： 農業

科目： 果樹

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 H1 組～ H2 組

使用教科書： ( 果樹 (実教出版 7実教312) )

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目

果樹

の目標：

| 【知識及び技術】                               | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|---|---|
| 果樹について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | 果樹に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 | 果樹の実験実習を通して学んだ技術や考察力により、これからの環境社会にに应用できるよう自ら学び、環境負荷への向上や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| <p>「果樹栽培の春夏管理」</p> <p>【知識及び技術】<br/>春夏果樹の特性を理解し、栽培管理の知識と技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>果樹の春夏に関する栽培管理について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>果樹の春夏栽培における情報や技術の収集につて、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>【指導事項】</p> <p>①着花の特徴を摘花<br/>②摘果の方法と役割<br/>③夏枝の剪定と誘引</p> <p>【教材】</p> <p>①実教出版「果樹」<br/>②タブレットを活用する。</p> | <p>【知識・技術】</p> <p>①各果樹の特性と栽培管理を理解している（レポート、課題、考査）<br/>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br/>③実習場面に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br/>④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①果樹の栽培管理について、その特性を理解し、各果樹の管理の方法について、わかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査）<br/>②果樹の栽培管理における課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題）<br/>③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①果樹栽培に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②果樹栽培に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題）<br/>③果樹栽培に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p> | ○ | ○ | ○ | 18       |
| 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |





高等学校 令和5年度(2学年)教科

農業 科目 草花

教科： 農業

科目： 草花

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組～ H2 組

使用教科書：( 草花(実教出版 7実教304) )

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。

科目

草花

の目標：

| 【知識及び技術】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識と技術を身に付けること。 | 草花の生産と経営に関する課題を発見すること。農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けること。 | 草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学ぶこと。農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むこと。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草花の種類(園芸的分類)を理解する。</li> <li>種子繁殖と栄養繁殖の違いと特徴を理解し、それぞれの栽培技術を身に付ける。</li> <li>草花の栽培管理に必要な用土・肥料とその扱い方を身に付ける。</li> <li>草花の生育と環境について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草花の種類による栽培方法について考え工夫して実践することができる。</li> <li>草花の生産方法について課題を発見することができる。</li> <li>草花の種類と性質・用途について工夫して表現することができる。草花の栽培管理について自ら説明することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草花の生産と利用方法について自ら学び、課題を発見しようとしている。</li> <li>草花栽培における基礎的な知識と技術を自ら身に付けようとしている。</li> </ul> | <p>第3章 草花の特性と栽培技術</p> <p>(1)草花の生育と環境<br/>(3)草花の生育と栽培技術</p> <p>【指導事項】</p> <p>①草花の分類<br/>②種子繁殖と栄養繁殖<br/>③草花の品種改良<br/>④草花の生育と環境<br/>⑤草花の生育と栽培技術</p> <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> </ul> <p>◇春まき一年草<br/>・マルゴルト<br/>・サルビア<br/>・エネテウ<br/>・ジニア<br/>・センネコウ</p> <p>◇小ギク<br/>◇バラ</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>期末考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>実習レポート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>授業への取り組み、課題の提出状況</p> | ○ | ○ | ○ | 20       |
| 定期考査  |  |   | ○ | ○ |   | 1        |

|             |   |   |  |   |   |   |    |    |
|-------------|---|---|--|---|---|---|----|----|
| 2<br>学<br>期 | <p>【知識および技能】<br/>・鉢物の栽培管理について理解し、栽培管理技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・鉢物の栽培について課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・鉢物の栽培に関する知識と技術を自ら身に付けようとしている。</p>                                | <p>第5章 鉢物生産</p> <p>【指導事項】<br/>◇プリムラ類<br/>①品種と分類<br/>②栽培管理方法</p> <p>◇キク（小ギク）<br/>①品種と分類<br/>②栽培管理方法<br/>③販売準備・販売、展示</p> <p>◇バラ<br/>①秋季剪定<br/>②施肥管理</p> <p>◇秋植え球根<br/>①分類<br/>②栽培管理方法</p> <p>【教材】<br/>・教科書</p> <p>◇プリムラ類<br/>・プリムラ ポリアンサ<br/>・プリムラ マラコイデス<br/>・プリムラ オブコニカ</p> <p>◇キク</p> <p>◇バラ</p> <p>◇秋植え球根<br/>・チューリップ<br/>・アネモネ<br/>・ラナンキュラス<br/>・クロッカス<br/>・ユリ</p> | <p>【知識・技能】<br/>期末考査</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>実習レポート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業への取り組み、課題の提出状況</p> | ○ | ○ | ○ | 20 |    |
|             | 定期考査  |   |  | ○ | ○ |   | 1  |    |
| 3<br>学<br>期 | <p>【知識および技能】<br/>・草花の品種と品種改良の方法を理解している。<br/>・草花の繁殖方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・草花の品種改良と繁殖について課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・草花の品種改良と繁殖に関する知識を自ら身に付け、課題を発見しようとしている。</p> | <p>第3章草花の特性と栽培技術<br/>(2)品種改良と繁殖</p> <p>【指導事項】<br/>・ニホンサクラソウ、キク、バラの繁殖方法<br/>・ニホンサクラソウの品種改良技術<br/>・キクの品種改良技術<br/>・バラの品種改良の歴史と方法</p> <p>【教材】<br/>・教科書<br/>・ニホンサクラソウ<br/>・キク<br/>・バラ</p>  | <p>【知識・技能】<br/>期末考査</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>実習レポート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>授業への取り組み、課題の提出状況</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |    |
|             | 定期考査  |   |  | ○ | ○ |   | 1  |    |
|             |   |   |  |   |   |   | 合計 | 53 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 農業 科目 造園と盆栽

教科: 農業 科目: 造園と盆栽 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 H1 組 H2 組 組 組

使用教科書: ( 文部科学省「環境緑化材料」 )

教科 農業 の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力をみにつけている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 栽培と環境 の目標:

| 【知識及び技術】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 造園: 造園(緑化材料)について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。<br>盆栽: 日本の伝統文化である盆栽について理解を深めると共に、管理知識などを身に付ける。 | 造園: 造園(緑化材料)に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>盆栽: 日本特有の盆栽の管理作業を通して盆栽の伝統を慮り、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 | 造園: 造園(緑化材料)について樹木の栽培・管理に活用できるように自ら学び、緑地環境の向上や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。<br>盆栽: 日本の伝統文化である盆栽の管理や発展に携わる者として様々な場面において、適切な思考判断できる。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| 盆栽単元「盆栽とは」【知識及び技術】初めて触れる教科である盆栽について理解すると共に管理知識などを身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】管理作業を通して盆栽の時代背景を学び、自ら盆栽作成する際に活用する力を身に付ける。【学びに向かう力、人間性等】日本の伝統文化である盆栽について学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。                            | 【指導事項】<br>①盆栽の使用道具・資材について<br>②盆栽の管理方法について<br>【教材】<br>①盆栽園場内の盆栽や道具 ②タブレットを活用する。 | 【知識・技術】<br>①使用道具・管理について理解している(レポート、課題、考査)<br>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察)<br>③実習場に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート)<br>④各指導事項の内容を理解している。(考査)<br>【思考・判断・表現】<br>①盆栽・資材の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。(レポート、課題、考査)<br>②盆栽・資材の課題を発見し、情報収集して解決することができる。(レポート、課題)<br>③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート・課題)<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①盆栽・資材に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)<br>②盆栽・資材に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。(レポート、課題)<br>③盆栽・資材に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)「知識・技術」 | ○ | ○ | ○ | 7        |
| 造園単元「環境緑化材料の特色と役割」【知識及び技術】環境緑化材料の特色と役割について理解するとともに、植栽管理知識・技術を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】環境緑化材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】環境緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 | 【指導事項】<br>①環境緑化材料の特色<br>②環境緑化材料の役割<br>【教材】<br>①文部科学省「環境緑化材料」<br>②タブレットを活用する。   | 【知識・技術】<br>①緑化材料の特色・役割を理解している(レポート、課題、考査)<br>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察)<br>③実習場に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。(レポート)<br>④各指導事項の内容を理解している。(考査)<br>【思考・判断・表現】<br>①緑化材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。(レポート、課題、考査)<br>②環境緑化材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。(レポート、課題)<br>③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート・課題)<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>①環境緑化材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)<br>②環境緑化材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。(レポート、課題)<br>③環境緑化材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。(レポート)     | ○ | ○ | ○ | 7        |
| 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |

|             |  |   |   |  |   |   |   |   |
|-------------|--|---|---|--|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | <p>盆栽単元「盆栽について」</p> <p>【知識及び技能】<br/>植物だけでなく重要な資材である盆器の種類について理解し、調査するとともに自分で盆栽作成する知識・技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>歴史ある貴重な盆器から量産品まで様々な盆器を理解し適切なものを選び植物と合わせることを身に付けている。また、自ら植物を組み合わせて盆栽を作成する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>歴史ある貴重な盆器から量産品まで様々な盆器を自ら学び主体的、協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>【指導事項】</p> <p>①盆器<br/>②石付盆栽について</p> <p>【教材】</p> <p>①盆器・盆栽資材<br/>②タブレットを活用する。「指導事項」</p>         | <p>【知識・技術】</p> <p>①盆器・盆栽の特色・役割を理解している（レポート、課題、考査）<br/>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br/>③実習場に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br/>④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①盆器・盆栽の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査）<br/>②盆器・盆栽の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題）<br/>③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①盆器・盆栽に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②盆器・盆栽に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題）<br/>③盆器・盆栽に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p> |  |   |   | 8 |   |
|             | <p>造園単元「植物材料」</p> <p>【知識及び技能】<br/>植物材料について理解するとともに、管理・調査する知識・技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>植物材料に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>植物材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>  | <p>【指導事項】</p> <p>①造園樹木<br/>②地被植物</p> <p>【教材】</p> <p>①文部科学省「環境緑化材料」<br/>②タブレットを活用する。</p>           | <p>【知識・技術】</p> <p>①植物材料の特色・役割を理解している（レポート、課題、考査）<br/>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察）<br/>③実習場に合った、道具・資材の扱い方を説明できる。（レポート）<br/>④各指導事項の内容を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①植物材料の特色・役割についてわかりやすくまとめることができ、説明できる。（レポート、課題、考査）<br/>②植物材料の課題を発見し、情報収集して解決することができる。（レポート、課題）<br/>③調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①植物材料に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②植物材料に関心をもち、積極的に情報を収集して記述している。（レポート、課題）<br/>③植物材料に関心をもち、実習記録をタブレットを活用して記録している。（レポート）</p>       |  | ○ | ○ | ○ | 8 |
|             | 定期考査   |   |   |  | ○ | ○ |   | 1 |
| 3           | <p>盆栽単元「盆栽作成」</p> <p>【知識及び技能】<br/>大きい盆栽と小さい盆栽では管理の留意点異なることを理解し、その知識・技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>様々な大きさの盆栽と触れることでそれぞれの課題を発見するとともに合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>様々な大きさの盆栽の栽培管理を通して、植物を使用して自己表現・デザイン性などを自ら学び、取り組む態度を身に付けている。</p>                                  | <p>【指導事項】 【指導事項】</p> <p>①盆栽の鉢替え<br/>②ミニ盆栽の作成</p> <p>【教材】</p> <p>①盆栽圃場内の盆栽・資材<br/>②校内自生植物・盆栽資材</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>①盆栽の植え替えについて理解している。（レポート・課題）<br/>②自生植物から盆栽にする技術を理解している。（レポート・課題）<br/>③各指導事項の内を理解している。（考査）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①大きさによって盆栽の植え方に違いがあり、留意点が変わることを考察し、自分の考えを表現することができる。（レポート・課題）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①大きさの違う盆栽の管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）<br/>②大きさの違う盆栽の管理に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。（レポート・課題）<br/>③大きさの違う盆栽の管理に関心をもち、調査記録をタブレットを活用して記録している。（レポート・課題）</p>   |  |   |   | 5 |   |

|        |  |   |   |   |   |   |   |
|--------|--|---|---|---|---|---|---|
| 学<br>期 | <p>造園単元「日本庭園樹木調査」</p> <p>【知識及び技能】<br/>環境緑化材料について理解するとともに、調査する知識・技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>環境緑化材料の調査記録をまとめ、日本庭園に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>日本庭園緑化材料の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> | <p>【指導事項】</p> <p>①プロジェクト学習課題設定<br/>②プロジェクト学習課題解決<br/>③プロジェクト発表</p> <p>【教材】</p> <p>①文部科学省「環境緑化材料」<br/>②タブレットを活用する。</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>①プロジェクト学習の意義を理解している。(レポート・課題)<br/>②プロジェクト学習の進め方を理解している。(レポート・課題)<br/>③各指導事項の内容を理解している。(考査)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①プロジェクト学習の調査記録をまとめ、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。(レポート・課題)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①プロジェクト学習に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)<br/>②プロジェクト学習に関心をもち、積極的に情報を収集してレポートに記述している。(レポート・課題)<br/>③プロジェクト学習に関心をもち、調査記録をタブレットを活用して記録している。(レポート・課題)</p> | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査   |  |   |   | ○ | ○ |   | 1 |

合計

43

## 令和5年度(2023年度) 年間指導計画

|               |   |         |       |     |         |
|---------------|---|---------|-------|-----|---------|
| 教科            | 農業  | 対象クラス   | ○ 必修  | 単位数 | 2<br>単位 |
| 科目            | 課題研究  | 3H1、3H2 | 必修選択  |     |         |
| 使用教科書<br>使用教材 | 無し  |         | 科目担当者 |     |         |
| 評価の<br>観点・方法  | ①出席点・主体的取り組み ②毎時の報告書 ③発表方法及び取り組み<br>①～③を総合的に判断し評価をつけるが、年間報告書が未提出の場合は評価が1に |         |       |     |         |

| 学期          | 月  | 単元                              | 具体的指導目標   | 指導内容  | 予定時数 |
|-------------|----|---------------------------------|---|---|------|
| 1<br>学<br>期 | 4  | オリエンテーション<br>各自の研究              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。</li> <li>・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣を付けさせる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間研究計画の作成</li> <li>・研究をすすめるにあたって</li> </ul>           | 4    |
|             | 5  | 各自の研究                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、計画に基づいた研究を行わせる。</li> <li>・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣をつけさせる</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の助言</li> </ul>                                      | 6    |
|             | 6  | 各自の研究<br>中間報告書の作成               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に研究させる。</li> <li>・記録の習慣をつけさせる。</li> <li>・報告書作成要領に基づいて報告書を作成させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書作成方法</li> <li>・報告書作成の助言</li> <li>・研究の助言</li> </ul> | 8    |
|             | 7  | 各自の研究<br>田間のまとめ                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、計画に基づいた研究を実践させる。</li> <li>・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣を付けさせる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の助言</li> </ul>                                      |      |
|             | 8  |                                 |   |   |      |
| 2<br>学<br>期 | 9  | 各自の研究                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、計画に基づいた研究を実践させる。</li> <li>・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣を付けさせる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の助言</li> </ul>                                      | 6    |
|             | 10 | 各自の研究                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立て、計画に基づいた研究を実践させる。</li> <li>・研究の記録を適切に行わせ記録の習慣を付けさせる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の助言</li> </ul>                                      | 6    |
|             | 11 | 各自の研究<br>研究要旨の作成<br>年間報告書・発表の準備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に研究させる。</li> <li>・研究をまとめさせる。</li> <li>・報告書や要旨に記載する内容についてまとめさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の助言</li> <li>・要旨の作成方法</li> <li>・年間報告書の作成</li> </ul> | 6    |
|             | 12 | 研究要旨の作成                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に研究させる。</li> <li>・簡潔に述べる力を付けさせる。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>要旨作成の助言</li> </ul>                                     |      |
| 3<br>学<br>期 | 1  | 年間研究報告書の作成<br>課題研究発表会           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭発表方法を習得させ、伝えるように工夫させる。</li> <li>・報告書作成要領に基づいて報告書を完成させる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書作成の助言</li> <li>・全学年視聴</li> </ul>                   | 10   |
|             | 2  |                                 |   |   |      |
|             | 3  |                                 |   |   |      |

## 令和5年度 年間指導計画

|              |   |               |       |      |    |
|--------------|---|---------------|-------|------|----|
| 教科           | 農業  | 対象クラス         | ○     | 必修   | 2  |
| 科目           | 総合実習  | 3 H 1 / 3 H 2 |       | 必修選択 | 単位 |
| 使用教科書        | 草花  |               | 科目担当者 |      |    |
| 使用教材         |   |               |       |      |    |
| 評価の<br>観点・方法 | 毎時間の実習態度（積極性・協調性・リーダーシップ性）準備片付けの姿勢・レポート・<br>考査得点を総合し評価評定をつける。 |               |       |      |    |

| 学期          | 月  | 単元              | 具体的指導目標  | 指導内容                                 | 予定時数 |
|-------------|----|-----------------|--|--------------------------------------|------|
| 1<br>学<br>期 | 4  | 造園: 傾斜地での造園施工管理 | 造園: 傾斜地での土留法について理解する。チェーンブロック等の道具の扱い方を身に付ける。                     | 安全管理、既存土留め資材の撤去。新規土留め施工。土壤改良。レポート課題。 | 4    |
|             | 5  | 造園: 傾斜地での造園施工管理 | 造園: 傾斜地での土留法について理解する。チェーンブロック等の道具の扱い方を身に付ける。                     | 安全管理、既存土留め資材の撤去。新規土留め施工。土壤改良。レポート課題。 | 6    |
|             | 6  | 造園: 傾斜地での造園施工管理 | 造園: 傾斜地での土留法について理解する。チェーンブロック等の道具の扱い方を身に付ける。                     | 安全管理、既存土留め資材の撤去。新規土留め施工。土壤改良。レポート課題。 | 8    |
|             | 7  | 農業鑑定            | 植物・道具・資材について理解する。  | 考査で確認                                | 1    |
|             | 8  |                 |  |                                      |      |
| 2<br>学<br>期 | 9  | 造園: 傾斜地での造園施工管理 | 造園: 傾斜地での土留法について理解する。チェーンブロック等の道具の扱い方を身に付ける。                     | 安全管理、既存土留め資材の撤去。新規土留め施工。土壤改良。レポート課題。 | 8    |
|             | 10 | 造園: 樹木管理        | 造園: 安全管理。脚立、梯子、安全帯の使用方法について理解する。樹木剪定を身に付ける。芝生管理および機械の操作方法を身に付ける。 | 安全管理、高木剪定。芝生管理。道具・機械の使用方法について。       | 6    |
|             | 11 | 造園: 樹木管理        | 造園: 安全管理。脚立、梯子、安全帯の使用方法について理解する。樹木剪定を身に付ける。芝生管理および機械の操作方法を身に付ける。 | 安全管理、高木剪定。芝生管理。道具・機械の使用方法について。       | 6    |
|             | 12 | 農業鑑定            | 植物・道具・資材について理解する。  | 考査で確認                                | 1    |



|             |   |         |   |                                |   |
|-------------|---|---------|---|--------------------------------|---|
| 3<br>学<br>期 | 1 | 造園:樹木管理 | 造園:安全管理。脚立、梯子、安全帯の使用方法について理解する。樹木剪定を身に付ける。芝生管理および機械の操作方法を身に付ける。 | 安全管理、高木剪定。芝生管理。道具・機械の使用方法について。 | 6 |
|             | 2 | 農業鑑定    | 植物・道具・資材について理解する。   | 考査で確認                          | 1 |
|             | 3 |         |   |                                |   |

## 令和5年度(2023年度) 年間指導計画

|               |   |         |      |     |         |
|---------------|---|---------|------|-----|---------|
| 教科            | 農業  | 対象クラス   | ○ 必修 | 単位数 | 2<br>単位 |
| 科目            | 野菜  | 3H1、3H2 | 必修選択 |     |         |
| 使用教科書<br>使用教材 | 野菜（実教出版）  | 科目担当者   |      |     |         |
| 評価の<br>観点・方法  | ①出席状況 ②授業態度 ③提出物 ④期末考査 ①～④を総合的に判断し評価するが、レポートの未提出が多いときは評価が1になることがある。 |         |      |     |         |

| 学期      | 月  | 単元                      | 具体的指導目標  | 指導内容   | 予定時数 |
|---------|----|-------------------------|--|--|------|
| 1<br>学期 | 4  | ・野菜の育苗<br>・果菜類の栽培       | ・育苗の目的と良い苗の特徴を理解し、育苗計画を立てられるようにする。<br>・GAPに則った栽培管理及び休眠、花芽分化について実習を通して理解させる。              | ・育苗の目的と方法<br>・育苗技術の実際と応用<br>・イチゴの栽培管理  | 6    |
|         | 5  | ・野菜の育苗<br>・夏野菜の栽培       | ・汎用されている接ぎ木の特徴を理解させる<br>・マルチング、植え付け、支柱立て等の目的と方法を理解させ、実施できるようにする。                         | ・つぎ木育苗技術<br>・セル成型苗生産とその利用<br>・ナス科、ウリ科、サトイモ等の栽培管理   | 4    |
|         | 6  | ・野菜の育苗<br>・夏野菜の栽培       | ・育苗の分業化とウイルスフリー苗の需要を理解させる。<br>・ナスの栽培特性を実習を通して学ばせる。特に施肥、かん水、剪定の重要性や生育の良否を見分けることができるようにする。 | ・栄養系苗生産とバイオテクノロジー<br>・企業による苗生産・苗販売<br>・企業的苗生産の実際<br>・リモートセンシングを活用した栽培管理及び都市型農業としての少量多品目栽培のメリット | 10   |
|         | 7  | ・定期考査                   | ・学習内容の定着度を確認する。<br>・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。  | ・復習個所の指示、正誤の事後指導。  | 2    |
|         | 8  |                         |  |  |      |
| 2<br>学期 | 9  | ・野菜の流通と経営改善<br>・秋冬野菜の栽培 | ・野菜の流通機構と特徴及び指定産地について理解させる。<br>・葉菜に対する害虫防除の重要性を実習を通して理解させる。                              | ・野菜の流通のしくみ<br>・葉茎菜、根菜の栽培管理   | 8    |
|         | 10 | ・野菜の流通と経営改善<br>・秋冬野菜の栽培 | ・鮮度維持の理論と技術を具体例を挙げながら理解させる。<br>・葉枚数、葉面積と結球、抽苔の関係を実習を通して理解させる。                            | ・野菜の鮮度保持<br>・葉茎菜、根菜の栽培管理   | 6    |
|         | 11 | ・加工・業務用野菜<br>・秋冬野菜の栽培   | ・加工業務用野菜の需要と供給および輸入の現状について理解させる。<br>・収穫調整作業を通じて安全衛生の重要性と手順を習得させる。                        | ・加工業務用野菜の現状<br>・加工業務用野菜の特徴<br>・葉茎菜、根菜の栽培管理   | 6    |
|         | 12 | ・定期考査                   | ・学習内容の定着度を確認する。<br>・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。  | ・復習個所の指示、正誤の事後指導。  | 2    |
| 3<br>学期 | 1  | 野菜生産の経営改善               | ・消費者の野菜に対するニーズと実際に行われている経営改善を理解させる。  | ・野菜生産の経営改善の方策<br>・6次産業   | 4    |
|         | 2  | ・定期考査                   | ・学習内容の定着度を確認する。<br>・自ら目標を設定し自学自習する態度を身に付けさせる。  | ・復習個所の指示、正誤の事後指導。  | 2    |
|         | 3  |                         |  |  |      |